

住宅相談所で家づくりをはじめるのは、 すでに、関東では当たり前?!



家のことを「住宅相談所」に相談するのはいいけど…。ちょっと聞きなれない…。



関東や都市部を中心に「住宅相談所」を通じて、家づくりや土地探しをする人が急増中！全国で200店舗以上がオープンし、住宅購入検討者の約1割以上の方が利用されている県や、年間1500組のお客様が来店されている店舗もございます。

■ これからの住まいづくりは住宅相談所が主流になる！



■ なぜ、住宅相談所が必要とされるのか。私たちはこう考えます。

家づくりを始めたい方は…。

インターネットの普及により、情報を集める窓口が増え、家づくりの情報を自分たちで集めるには便利になりました。その反面、情報量が増えることにより、その情報が自分たちにとって必要なものなのかどうかの判断がしづらくなってきています。お客様にとって「何が本当に有利なのか…」真実が見えなくなっているように思えます。



■ 家づくりを始めたい方が求める住宅相談所

インターネットの情報収集とは違い、『人』と対面で話すことによって、現在の状況を客観的に整理し、自分達には「何が必要なのか」「何から始めるのか」を一緒に考え、次のステップへと進めるようにします。

住宅・不動産業界では…。

チラシやホームページで、1組のお客様のアンケートをとるために平均10万円以上のコストがかかり、優秀な営業マンを持つ会社でも、10組に1組の契約ができれば良い方といわれています。お客様との打ち合わせでは、何ヶ月もかかって打ち合わせをしたにもかかわらず、最終的に「ローンが借りられない」「納得のいくプランができない」「予算が合わない」といったケースも増えています。



■ 建築会社が求める住宅相談所

そういった『声』から、住宅相談所も建築会社とお客様との繋ぎ合わせをするだけのところではなく、「お金・土地・建物」に対して専門的な知識のあるプロが総合的に判断できる「住宅総合相談所」を必要としています。



質の良い『住宅総合相談所』の存在が必要とされています。

質の良い住宅相談所とは…。

『家づくり』をするとき、お客様が決めなければいけない項目は約700～800項目あるといわれています。しかも、これに土地探しを同時に進めるとなると、さらに数は増えてきます。そもそも『家づくり』とは、お店に行き、気に入ったモノがあると値札をみて買うかどうかの判断ができるものとは全く違って、自分たちが、数多くの判断を積み重ね、より良いものをつくり上げていくことなのです。

■ しがの住まいの窓口の役割

今までの住宅相談所は、広告代理店や保険代理店が経営しているケースが多く、家づくりに関する知識（土地・建築・設計等）が少ない、いわゆる“専門家”がいない状況でした。一方、「しがの住まいの窓口」は、スタッフ全員が住宅業界の経験者となりますので、「家の探し始め～マイホームの実現」までの流れを分かりやすく整理して、お客様の判断のお手伝いをすることができます。

■ 「しがの住まいの窓口」と今までの相談所との違い



■ 専門家による中立・公正なアドバイス

しがの住まいの窓口の講師・アドバイザーは、今まで3000件以上の土地取引や建築・住宅ローンを取り扱った経験を持っており、お客様が判断すべき全ての項目において、その経験を活かし、中立・公正にお客様の立場に立ってアドバイスしていきます。

住まいのあらゆるご相談は『しがの住まいの窓口』へ

しがの住まいの窓口

おはなしいくよ

0120-0874-19

〒525-0037
滋賀県草津市西大路町9番18号
TEL: 077-574-8777 / FAX: 077-574-8779
E-mail: info@sumaino-madoguchi.com

※キッズスペースあります！

住まいの窓口 草津 検索

